

NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

N8500-567/568/569/570/571

Express5800/120Ed

ユーザーズガイド

2000年 6月 初版

ONL-055a-120Ed-000-00-0006

商標について

ESMPROとExpressPicnicは日本電気株式会社の登録商標です。

EXPRESSBUILDERは日本電気株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS、BackOfficeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。

Xeonは米国Intel Corporationの商標です。

NovellおよびNetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。

SCSI Selectは米国Adaptec, Inc.の商標です。

Mylexは米国Mylex Corporationの登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

DLTとDLTtapelは米国Quantum Corporationの商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating system、およびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0、およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略称です。SBSはMicrosoft® BackOffice® Small Business Serverの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波適合品

本装置は通商産業省通知の家電、汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

レーザ安全基準について

本装置に標準で搭載されているCD-ROMドライブは、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 ~必ずお読みください~

Expressサーバを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告




指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。




注意

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
 	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	 注意

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------





行為の強制






	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

Expressサーバを安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	<p>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p>煙や異臭、異音が生じたまま使用しない</p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにPOWERスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p>針金や金属片を差し込まない</p> <p>通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p>

 注意	
 	<p>海外で使用しない</p> <p>本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。</p>
 	<p>装置内に水や異物を入れない</p> <p>装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。</p>

電源・電源コードに関する注意事項

警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

注意



指定以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項



注意



一人で持ち上げない

本装置の質量は最大23kg(構成によって異なる)あります。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置は二人以上で底面をしっかりと持って運んでください。また、フロントマスクを持って、持ち上げないでください。フロントマスクが外れて落下し、けがの原因となります。



指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



プラグを抜かずにインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルコネクタを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



CD-ROMドライブの内部をのぞかない

CD-ROMドライブはレーザを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザ光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザ光は目に見えません)。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを抜かずに取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



コネクタカバーを取り付けずに使用しない

内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

運用中の注意事項

注意



巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。



雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



装置の上にものを載せない

本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。



CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない

引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。



ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない

ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォンジャックに接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。

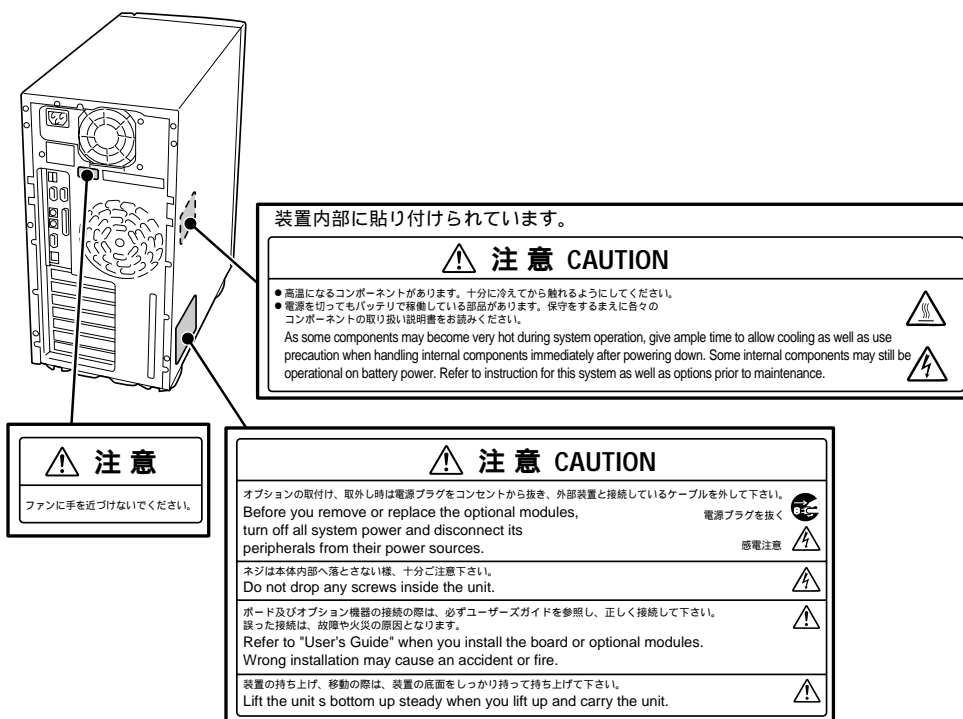


近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

警告ラベルについて

Expressサーバ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはExpressサーバを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。



取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

Expressサーバを正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをするとExpressサーバの誤動作や故障の原因となります。

- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは111ページを参照してください。
- 本装置専用の保守用パーティションがOSから見える場合がありますが、この保守用パーティションを削除しないでください。
- 周辺機器へのケーブルの接続 / 取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは30秒以上経過してからにしてください。
- 本装置の電源ON後、ディスプレイ装置の画面に「NEC」ロゴが表示されるまでは電源をOFFにしないでください。
- 本装置を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本装置を清掃してください（清掃は265ページで説明しています）。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け / 接続できても正常に動作しないばかりか、装置本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。



保守サービスについて

Expressサーバの保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

Expressサーバをいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

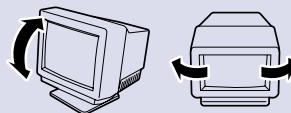
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のだるい部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



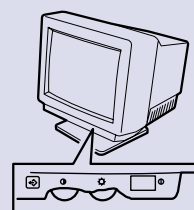
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用の前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



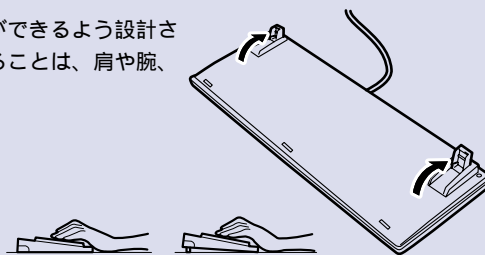
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

本装置に添付されているキーボードは、角度を変えることができるよう設計されています。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、NECのExpressサーバをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
Express5800/120Edは、最新のマイクロプロセッサ「Intel® Pentium® III Processor」を搭載した高性能サーバです。

NECの最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかったハイパワー、ハイスピードが実現します。

「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご利用いただけることでしょう。

Expressサーバの持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について




本書は、Expressサーバを正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。Expressサーバのセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常にExpressサーバのそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windows 2000やWindows NT、NetWareなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店、またはお買い求めの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。本書を再購入できます。

- 品名 Express5800/120Ed ドキュメントセット
- 型名 UL9020-541

「Express5800/120Edドキュメントセット」には、次のものが含まれています。

- ユーザーズガイド
- スタートアップガイド
- お客様登録申込書
- 構成品表(モデル別)

本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

- 第1編 導入編 Expressサーバを導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになれるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しくExpressサーバをお使いになるシステム環境へ導入してください。
- 第2編 ハードウェア編 Expressサーバのハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、Expressサーバにふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。
- 第3編 ソフトウェア編 Expressサーバに添付のソフトウェアについてその機能や使用方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。
- 第4編 運用・保守編 Expressサーバを運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、Expressサーバの故障を疑う前に参照してください。

付属品の確認

Expressサーバの梱包箱の中には、Expressサーバ本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、Expressサーバが故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」の構成品については、パッケージの中にある構成品表を参照してください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは、使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

Expressサーバまたは、Expressサーバに添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

● Expressサーバ本体について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。


● 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。


- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること


消耗品・装置の廃棄について

Expressサーバおよびハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

 **重要** Expressサーバのマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

Expressサーバの部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(装置ファン、装置内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

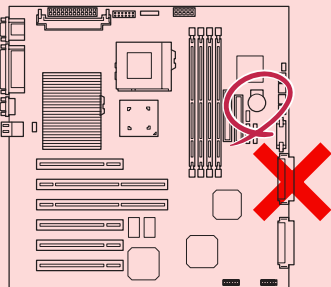
**警告**



リチウム電池を取り外さない


本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

目次

 使用上のご注意 ～必ずお読みください～	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
全般的な注意事項	v
電源・電源コードに関する注意事項	vi
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	vii
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	viii
運用中の注意事項	ix
警告ラベルについて	x
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～	xi
はじめに	xiii
本書について	xiii
本文中の記号について	xiii
本書の再購入について	xiv
本書の構成について	xiv
付属品の確認	xv
第三者への譲渡について	xv
消耗品・装置の廃棄について	xvi

1 導入編

Expressサーバの特長	2
サーバ管理	3
ストレージ管理	4
電源管理	6
ネットワーク管理	6
導入にあたって	7
システム構築のポイント	7
運用方法の検討	7
稼動状況・障害の監視、および保守	7
システムの構築・運用にあたっての留意点	8
出荷時の状態を確認しましょう	8
セットアップの手順を確認しましょう	9
各運用管理機能を利用するにあたって	12
お客様登録	14
セットアップを始める前に	15
ハードウェアのセットアップ	15
システムのセットアップ	16

Windows 2000のセットアップ	17
カスタムインストールモデルのセットアップ	17
セットアップをはじめる前に ～購入時の状態について～	17
セットアップの手順	17
シームレスセットアップ	19
OSのインストールについて	20
セットアップの流れ	21
セットアップの手順	23
障害処理のためのセットアップ	28
管理ユーティリティのインストール	31
システムのアップデート	31
システム情報のバックアップ	31
Windows NT 4.0のセットアップ	32
カスタムインストールモデルのセットアップ	32
セットアップをはじめる前に ～購入時の状態について～	32
セットアップの手順	32
シームレスセットアップ	35
OSのインストールについて	35
セットアップの流れ	37
セットアップの手順	39
障害処理のためのセットアップ	46
管理ユーティリティのインストール	50
システムのアップデート ～Service Packの適用～	51
システム情報のバックアップ	51
マニュアルセットアップ	52
Windows NT 4.0のセットアップ	53
SBSのセットアップ	59
Windows NT 4.0/TSEのセットアップ	67
NetWareのセットアップ	71
本装置がサポートしているOSについて	71
注意事項	71
インストールの準備	75
ハードウェアの準備	75
ソフトウェアの準備	75
インストールシステムのセットアップ	76
NetWare 3.2Jのインストール	78
デバイスドライバのセットアップ	78
サーバソフトウェアのインストール	79
NetWare 4.2(日本語版)のインストール	85
デバイスドライバのセットアップ	85
サーバソフトウェアのインストール	85
NetWare 5/5.1(日本語版)のインストール	91
デバイスドライバのセットアップ	91
サーバソフトウェアのインストール	91
NetWare用デバイスドライバのロード方法	96
内蔵IDEドライバ	96
内蔵AdaptecSCSIドライバ	97
ディスクアレイ(PCI)ドライバ	98
AdaptecSCSI(N8503-42)ドライバ ～NetWare 3.2J/NetWare 4.2用～	99
AdaptecSCSI(N8503-42)ドライバ ～NetWare5/5.1用～	100
100BASE-TX接続ボード(N8504-75/ 本体内蔵LAN)ドライバ	101
B4680 接続ボード(PCI)ドライバ	102
B4680 接続ボード(T)ドライバ	103

2 ハードウェア 編

各部の名称と機能	106
装置前面	106
装置背面	107
装置内部	108
マザーボード	108
ランプ表示	109
POWER/SLEEPランプ	109
STATUSランプ	109
DISK ACCESSランプ	110
アクセスランプ	110
設置と接続	111
設 置	111
接 続	113
基本的な操作	115
電源のON	115
POSTのチェック	116
POSTの流れ	116
POSTのエラーメッセージ	118
電源のOFF	122
省電力モードの起動	123
フロッピーディスクドライブ	124
フロッピーディスクのセット/取り出し	124
フロッピーディスクの取り扱いについて	124
CD-ROMドライブ	126
CD-ROMのセット/取り出し	126
取り出せなくなったときの取り出し方	127
CD-ROMの取り扱いについて	127
内蔵オプションの取り付け	128
安全上の注意	128
静電気対策について	129
取り付け/取り外しの準備	130
取り付け/取り外しの手順	130
サイドカバー	130
フロントマスク	132
3.5インチハードディスク	133
PCIボード	137
ディスクアレイコントローラボード	141
DIMM	144
5.25インチデバイス	147
CPU	150
ケーブル接続	152
標準構成	152
内蔵ハードディスクベイをディスクアレイ構成にする場合	152
DISK増設筐体との接続	153
ディスクアレイコントローラ(N8503-49)を使用した場合の例	153
ディスクアレイコントローラ(N8503-44)を使用した場合の例	154
最大構成のときの接続例	155

BIOSのセットアップ	156
システムBIOS ～SETUP～	156
起 動	156
キーと画面の説明	157
設定例	158
パラメータと説明	161
SCSI BIOS ～SCSISelect～	178
SCSISelectユーティリティの用途	178
マザーボード内蔵のコントローラに対する設定	178
オプションボードのコントローラに対する設定	184
オプションSCSI機器用設定リスト	184
ディスクアレイBIOS ～ディスクアレイBIOSユーティリティ～	185
リセットとクリア	187
リセット	187
強制シャットダウン	187
CMOS・パスワードのクリア	187
割り込みラインとI/Oポートアドレス	190

3 ソフトウェア 編

添付のCD-ROMについて	194
EXPRESSBUILDER	195
起動メニューについて	195
EXPRESSBUILDERトップメニュー	196
起 動	196
キーボードの選択	197
シームレスセットアップ	197
ツールメニュー	198
コンソールレスメニュー	201
設定情報ファイルの作成	201
起 動	203
セットアップ	204
ツールメニュー	204
マスターコントロールメニュー	205
Mylex DACコンフィグレーションユーティリティ	206
本ユーティリティの使用制限	206
使用上の注意	206
コンフィグレーションの手順	207
コンフィグレーション情報を新規に設定する場合	207
ハードディスクの追加を行う場合	208
コンフィグレーション情報を変更する場合	208
ハードディスクが故障した場合	209
アレイコントローラの交換を行う場合	210
ユーティリティの起動と終了	211
起動画面	211
インストレーションアポートが発生した場合	211
終了方法	213

ユーティリティの主な機能	214
New Configuration	214
View/Update Configuration	217
Rebuild	218
Initialize System Drive	219
Consistency Check	220
Tools	220
Select DACXXX	222
Advanced Functions	223
ExpressPicnic	225
ExpressPicnicのインストール	225
Windows 2000・Windows NT 4.0・Windows 95/98	225
Windows NT 3.51	226
セットアップパラメータFDの作成	227
コンピュータからの情報採取	229
大量インストール	229
Express本体用バンドルソフトウェア	231
ESMPRO/ServerAgent(Windows 2000/Windows NT版)	231
インストール前の準備	231
インストール	231
インストール後の確認	232
ESMPRO/ServerAgent(NetWare版)	233
インストール前の準備	233
インストール	233
TRAPTARG.CFGファイルの作成	235
アンインストール	236
Global Array Manager Server(Windows 2000/Windows NT版)	237
カスタムインストールモデルでのセットアップ	237
シームレスセットアップを使ったセットアップ	237
手動インストール(新規インストール)	238
Global Array Manager Server(NetWare版)	240
動作環境	240
GAM Serverをインストールする前に	240
インストール用のフロッピーディスクの作成	241
インストール	241
アンインストール	242
自動クリーンアップツール	243
カスタムインストールモデルでのセットアップ	243
シームレスセットアップを使ったセットアップ	243
手動インストール(新規インストール)	244
Array Recovery Tool	245
CLARiiON Array Manager	245
エクスプレス通報サービス	246
カスタムインストールモデルでのセットアップ	246
手動インストール(新規インストール)	247
ESMPRO/UPSController Ver.2.0	249
カスタムインストールモデルでのセットアップ	249
新規インストール	251
PowerChute <i>plus</i> Ver.5.11J	253
カスタムインストールモデルでのセットアップ	253
新規インストール	254

管理PC用バンドルソフトウェア	255
ESMPRO/ServerManager	255
MWA ~ Management Workstation Application ~	255
MWAについて	255
管理PCとExpressシリーズ間の通信方法について	255
MWAの機能	256
動作環境	257
MWAのインストール	257
Express5800シリーズのリモートマネージメントコンフィグレーション	258
Global Array Manager Client	260
カスタムインストールモデルでのセットアップ	260
シームレスセットアップを使ったセットアップ	260
手動インストール(新規インストール)	260

4 運用・保守 編

日常の保守	264
アラートの確認	264
ステータスランプの確認	264
バックアップ	265
クリーニング	265
本体のクリーニング	265
キーボード / マウスのクリーニング	266
CD-ROMのクリーニング	267
システム診断	268
システム診断の内容	268
システム診断の起動と終了	268
障害時の対処	271
障害箇所の切り分け	271
エラーメッセージ	272
POST中のエラーメッセージ	272
ランプによるエラーメッセージ	272
Windows 2000/Windows NT 4.0のエラーメッセージ	272
ESMPROからのエラーメッセージ	273
トラブルシューティング	274
Expressサーバについて	274
EXPRESSBUILDERについて	280
シームレスセットアップについて	281
マスターコントロールメニューについて	284
ディスクアレイについて	285
ExpressPicnicについて	287
ESMPROについて	287
障害情報の採取	290
Windows 2000/Windows NT 4.0をお使いの場合	290
NetWareをお使いの場合	295
システムの修復 ~ Windows 2000/Windows NT 4.0 ~	296
修復手順	296
ネットワーク関連の修復	296
オフライン保守ユーティリティ	297
オフライン保守ユーティリティの起動方法	297
オフライン保守ユーティリティの機能	298

移動と保管	299
ユーザーサポート	300
保証について	300
修理に出される前に	300
修理に出される時は	301
補修用部品について	301
保守サービスについて	301
ハードウェアメンテナンスサービス	302
ソフトウェア保守サービス	303
オプションサービス	303
情報サービスについて	305
付録A 仕 様	307
付録B 保守サービス会社網一覧	309
索 引	313

添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」には次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ユーザーズガイド
- Mylex DACコンフィグレーションユーティリティオペレーションガイド
- Microsoft Windows 2000 Server/Microsoft Windows 2000 Advanced Serverインストールサブリメントガイド
- Microsoft Windows NT 4.0 Server/Microsoft Windows NT 4.0 Server, Enterprise Editionインストールサブリメントガイド
- ESMPRO/ServerAgent(Windows NT版)インストールガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- エクスプレス通報サービスインストールガイド
- Global Array Manager Server(Windows 2000/Windows NT版)インストールガイド
- Global Array Manager Clientインストールガイド
- Global Array Managerオペレーションガイド
- 自動クリーンアップツールインストールガイド
- Array Recovery Toolインストールガイド
- CLARiiON Array Managerインストールガイド
- Express Server Management Guide